ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E112K006	体育実技Ⅱ（ダンス・器械運動） (Physical Education PracticeⅡ)		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必修	1	2	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		他	日本語		単独

担当教員	氏名　内倉康二 E-mail　uchikura92694029@oita-u.ac.jp　内線
授業の概要	器械運動については基本的な技について学習し、発展技へ挑戦するとともに、技を組み合わせて演技を構成し発表する。ダンスについては、ステップを理解し、リズムに合わせて踊る。さらに動きに変化をつけたり、群や構成を考えたりしながら作品を創作し表現する。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	基本的な技を理解し、習得する。		○						
目標2	技を組み合わせて演技することができる。		○						
目標3	イメージを即興的な動きで表現することができる。		○		○				
目標4	テーマに合わせて作品を創作し表現することができる。			○					
目標5	一連のステップをリズムに合わせて踊ることができる。		○						
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
		各DPへの関連度（計10）	4	3	3				

授業の内容	
1	ダンス、器械運動の内容と各運動に関する知識
2	回転系（接転）の基本的な技（１）
3	回転系（接転）の発展技
4	回転系（ほん転）の基本的な技
5	回転系（ほん転）の発展技（１）
6	回転系（ほん転）の発展技（２）
7	巧技系および連続技
8	発表会
9	動きの要素、即興的表現
10	テーマに合わせた小作品作り
11	リズムダンスの基本の動き
12	リズムダンスのステップ
13	群と構成
14	動きの修整
15	発表会

アクティブラーニング					
	A:知識の定着・確認	○	動画の撮影や他者の運動観察を通して自己の動きを修正・修整する。創作活動を通して動きやイメージの意見を出し合う。	その他の工夫	各自のペースと完成度に応じて技・作品づくりをする。
	B:意見の表現・交換	○			
	C:応用志向				
	D:知識の活用・創造				

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	中学校学習指導要領および解説編を読んでおく。(5h) 器械運動の技の名称を調べる。(8h) リズムダンスや創作ダンスに関する参考となる動きを調べる。(5h)
	事後学修	毎時の動きや作品の振り返りを行う。(10h)
	想定時間合計	23

教科書	教科書は指定しない。
参考書	文部科学省、『器械運動指導の手引』、平成２７年 文部科学省、『表現運動系及びダンス指導の手引』、平成２５年

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	ダンスの到達度	40%			○	○	○					
	器械運動の到達度	40%	○	○								
	小レポート	20%	○			○						

注意事項	原則として、第３体育館を使用。
備考	運動のできる服装が必要。ただし、器械運動とダンスのそれぞれに合わせて準備すること。
リンク	
URL	